

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	高社山を中心とした地域の賑わい創出事業
事業主体 (連絡先)	高社山を世界に発信する会 住所 中野市大字竹原 896 Tel 0269-22-4627
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	475,152 円 (うち支援金: 339,000 円)

事業内容

- 1) 高社山 開山祭→新緑の高社山に登ろう  
(開山祭の名称の調整が関係地区と調整がつかなかったため、名称変更。)  
5月28日(日)  
谷巖寺ルートは、40名募集。その他のルートは、自主登山  
霊山としての高社山の魅力の再発見を図る。  
(石仏・植物・歴史の講習など)
- 2) 高社山のエリアのドローンによる空撮(四季を撮影予定)
- 3) 登山道の整備



【新緑の高社山に登ろう】

事業効果

- ①②の効果 植物の生態系や魅力の再発見。
- ① 一般参加者20名(内当日欠員1名)。講師1名。本会ボランティア計8名。(同行者3名、フォロー5名)
    - ・インターネット等で募集をしたことにより、地元の参加者だけでなく、県外からも参加していただいた。また、登山を行いながら、講師の湯本先生により、登山道周辺の植物の生態や歴史をご教授いただけたことにより参加者にはとても満足していただいた。
  - ② 高社山のエリアのドローンによる空撮(2018年1月末で撮影終了)
    - ・動画の公開を行ってから日が浅いため、視聴者の反応はまだ得られていないが、ドローンにより空撮できたことにより、歩いていけないところなどを映像で見ることができ、今後の高社山をアピールするために幅広く利用できると思います。
  - ③ 登山ルートの倒木等を伐採することにより、安全に登山ができる。
    - ・滝ノ沢の調査に使用。また、シートウサミット(10月21日、22日開催)の準備で赤岩登山ルートを整備。登山道の草刈りや、倒木の伐採を行った。

【目標・ねらい】

- ① 植物の生態系や魅力の再発見。
- ② 植物の生態系や魅力の再発見。
- ③ 登山ルートの倒木等を伐採することにより、安全に登山ができる。

※自己評価【B】

【理由】

5月の登山の際には、会員以外の方が多く参加していただけた。高社山の魅力を発信することができた。  
また、山道整備を行ったことにより、10月のシートウサミットの際には、雨の中怪我人もなく、無事に終了することができた。参加者からも「山道がきれいでした」と、激励の言葉をいただいた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・高社山を中心に、地域の連携を図り、農村コミュニティーリゾート構想を実現する。
- ・今回撮影した動画を利用して、イベント時に利用したり、インターネット等で引き続きアピールを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある